



卒園の日まであと4週を残すだけとなりました。
年長児たちどの子も卒園を意識するようになってきました。
自分の課題、特に3月18日までにやり遂げたいと言う気持ちで満面に浮かべながらのおとこたちがあちこちに。
そんなようすを、胸を熱くしながらじーっと見守るスタッフたちです。

■ ことごとちにとって、職員室というのは自分たちの教室と違って特別な想いを抱いているでしょう。

お当番の日は、バスとと言うクラス単位の連絡ノートの受け渡しに必ず出入りしなければならぬ緊張の場所です。

年長児たち、クラスを男・女に分けて、お弁当日には職員室でのランチタイムにしております。



■ 言われて「やる気」を出す子と居れば、言われなくて「やる気」を出す子が沢山あります。
強制しないから、ことごとちの自主性に任せます。
5メートル歩き、名人になっても星を1個でも多く欲しくて挑戦します。
みんながそうだから、自分も挑戦します。誰かが成功すると大さわざです。
ことごとち、お互いに育ち合っているのです。

ある意味、興味しんせいで憧れの場所で、誰かが園長席をGetするのが注目です。

残り少ない幼稚園生活ですが、年長児たちワクワク・ドキドキの思い出づくりを楽しんでおります。

- 次年度より次の納入金に変更になります。宜敷くおねがいします。
- ◎ 特別保育料(エコ式分)は 現行より 500円増額になります。
 - ◎ 設備運営費は 25,000円になります。
 - ◎ 預かり保育料は 1ヶ月 11,500円になります。

(心の育ちシリーズ)

本物を見せよう!

ことごとちが探究心・冒険心などの「知的好奇心」を持つのは学力を伸ばす上で重要なことです。なぜかと言うと、知的好奇心のレベルが高いと記憶の定着が良くなるからです。記憶と感情は密接に結びついて、「楽しい」「面白い」と思ったことは覚えます。

このように言っているのは脳医学者 龍 靖久さんで、次のようにも。

「知的好奇心が伸びて学力も伸びた子の家庭」について進学塾の教師たちが口をそろえて言っていました。「本物を見せる」ことだと。

子どもが図鑑を見て新幹線に興味を持つ。昆虫に興味を持つ。それなら知的好奇心も学力も伸びた子の家庭は、すぐにも本物を見せに連れて行くそうです。

電車に興味を持ったら電車を見せてあげる。昆虫や植物に、動物に興味を持ったら野山や動物園に連れて行くそうです。

そうすると、図鑑の中の情報と現実の世界が結びつきます。それをきっかけにして子どもの知的好奇心は更に大きく育ち、自分から学びを深めていくそうです。

知的好奇心も学力も伸びる子の家庭は、バーチャル(図鑑)とリアル(現実)を結びつけ、子どもの好奇心を強くする取り組みを意識的に行っているんですね。

脳医学の観点から見ると、子どもは基本的に模倣(まね)によって色々な能力を獲得していきます。

箸を持ち使う、言葉を喋る、社会のマナーを覚えるなどはまねをして身につけています。

その為、子どもの知的好奇心を持たせる為に親はどうしたら良いのかと言うと、一緒に楽しむのが良いのです。子どもは親が好きなのはたいい好きになるし、親と一緒にするのが大好きなんです。